

第2学年便り

第4号 愛知県立内海高等学校 第2学年 2019/07/2(火)発行

～遠足を終えて～

2年生初めての学年行事である遠足が5/31(金)に行われました。今年度は愛・地球博記念公園モリコロパークでの5kmウォーキングとレクリエーション活動を実施しました。2年生になり、昨年度よりも体力が着いてきた生徒が多く、終始元気に活動することができました。途中のサツキとメイの家の見学では、童心に返り、楽しむことができました。今回の遠足の目的であった、①信頼関係をつくる、②責任・役割をはたす、③規範意識を高めるといった部分についても意識できる生徒が増え、大変嬉しく思っています。ぜひ、今後の学校生活の中でも意識し、自分自身を高めていってくださることを期待しています。以下は生徒の感想文の抜粋です。



★1組 Yさん☆

サツキとメイの家は映画で見たものと見た目も中身もそっくりで、すごかったです。軒下の小さいトトロが入っていたところにはドングリもありました。最初は歩きたくないと思っていたけれど、いつも話す人とも、あまり話したことがない人とも話すことができ良かったです。先生とも話ができ良かったです。

★2組 Yさん☆

広場での自由時間はバレーボールをしました。僕はバレーボールが苦手で、ボールが違う方向にいてしまいました。でも、友達とバレーボールができてとても楽しかったです。遠足に行く前は他の人と話したりできるか不安でしたが、話しながら散歩したり、バレーボールができて楽しい遠足になったので良かったです。

★3組 Tさん☆

今回の遠足を通して、コミュニケーションを取って新しい仲間を作り、いろいろな人と関わることで絆を深めることができました。行事はみんなで協力して楽しまなければつまらないということも分かりました。僕が学んだことは、仲間の大切さ、コミュニケーションの大切さ、仲間と協力して盛り上げるということです。修学旅行でも頑張りたいです。

★4組 Nさん☆

遠足でできたことは友達と協力しながら頑張ったことです。しかし、思ったことをすぐに口に出してしまったり、先生に注意されてからしか直せなかったりしたので、周りを見て行動できる方が良いと思いました。この反省を活かして成長していきたいと思いました。日頃の生活を変えて、直していきたいです。



～情報モラル講話・交通安全講話を聞いて～

5/23(木)に情報モラル講話が、6/4(火)に交通安全講話が行われました。

情報モラル講話では、インターネットを利用したSNSにおけるトラブルに巻き込まれないために、また、悪質インターネットサイトに関する詐欺事件などの被害にあわないために、実例を元にしたDVDを見ました。

交通安全講話では一宮特別支援学校の則竹崇智教諭を講師に迎えて行われました。則竹教諭のお子様はポケモンGOをしながら運転していたトラックにひかれて亡くなられています。御自身の辛い経験を踏まえた話は生徒たちの胸に響く内容でした。

学校では今回のような講演会や、学年集会の時間を利用して、自身が様々なトラブルの被害者にも加害者にもならないように生徒に対して声を掛けております。御家庭でもお子様とお話しいただき、御家庭と学校の協力体制のもとお子様の安心・安全な生活を築いていければと考えております。以下は生徒の感想文の抜粋です。

情報モラル講話感想

★2組 Eさん☆

相手がどのような人物か分からないインターネットの裏側では、いくらでも嘘をつけるということが分かり、とても怖いと思いました。インターネットを簡単に信用せず、知らない人とは関わらないようにします。

★3組 Kさん☆

人の写真を勝手にインターネット上にあげてしまうと、人との関係が崩れていくことがあるので、恐ろしいと思いました。普段あまり写真を撮りませんが、これから写真を撮る機会が増えるかもしれないので、周りをよく見て注意したいです。

★4組 Kさん☆

SNSなどでのメールのやりとりは相手に気持ちが上手く伝わらなかつたり、上手く理解できなかつたりして、ケンカになることがあると思いました。なので、大事なことは直接言った方が良いと思いました。

交通安全講話感想

★1組 Tさん☆

僕は普段自転車に乗っていて気づいたことがあります。朝、小学校の低学年の子があまり周りを見ずに登校しているということです。だから、僕は小学生が近くにいるときは、絶対にスピードを出さずに走行しています、それなのに、ながらスマホをしながら車を運転していたら、運転手は子供に気づかないし、子供も気づかないので、事故が起こる確率はとても高くなると予想がつかます。毎日当たり前のように楽しく暮らしていて、当たり前のように明日が来ると思っている、ながらスマホによる交通事故によって、全てが崩れてしまいます。僕はたまに急いでいると周りを確認せずに自転車に乗っていることがあります。自分がいつ加害者になってしまうのかも分からないので、時間に余裕を持ち、交通マナーを守っていきたくと思いました。

